

杉原千畝が遺した 命の証 記念講演

勇気の決断が繋いだ歴史の真実を語り継ぐ

2026 4/14 TUE
17:00 開場
18:00 開演

早稲田大学大隈記念講堂
(大講堂)



(杉原ビザ受給者家族)
ロバート・グリーンバーグ



(杉原千畝孫)
杉原千弘



申し込みはこちら ▶
先着500名
(事前予約制)
参加費無料



*申込み締切り:2026年4月5日23:59まで

一般の皆さま
(認証無し)

早稲田大学学生
教職員の皆さま
(認証あり)



主催 NPO杉原千畝命のビザ
共催 早稲田大学文化推進部

開催概要

NPO杉原千畝命のビザはサバイバーであるグリーンバーグ家を迎え、早稲田大学大隈記念講堂にて特別講演会を開催します。

杉原千畝は1939年、第二次世界大戦下のリトアニア・カウナスに日本領事館の領事代理として赴任し、迫害されるユダヤ人を救うため日本政府の命に背き、独自の判断で日本通過ビザを発給し数千人の命を救いました。現在、その子孫は25万人にのぼるとも言われています。2026年は杉原千畝の没後40年にあたり、彼の信念を継承するために設立されたNPO法人杉原千畝命のビザにとっても設立25周年という節目の年です。

この特別な年に、サバイバーの家族を日本に迎え、千畝の孫である杉原千弘と共に「千畝が持つヒューマンイズムの精神と命の尊さ、勇気の決断」をテーマにした共同講演会を開催します。

講演者について

ロバート・グリーンバーグ氏（85歳）（講演：日本語訳付）

ユダヤ系ポーランド人、オスカー&ドラ・グリーンバーグ夫妻の長男。

杉原ビザで日本に到着し、神戸で生まれる。現在オーストラリア在住。

杉原千弘氏（62歳）（講演：英訳文付）

千畝の長男、弘樹の息子。祖父千畝から当時の話を直接聞いている。

祖父の姿と命のビザについて語る。現在タイ在住。国内初講演。

後援

在日オーストラリア大使館、ドイツ連邦共和国大使館、駐日イスラエル大使館、
駐日リトアニア共和国大使館、駐日オランダ王国大使館、ポーランド共和国大使館、
ポーランド広報文化センター（国名アルファベット順）

平塚市、八百津町、杉原千畝記念館、狛江稲門会、新座稲門会、瑞陵会、オバナヤ・セメントックス株式会社

問い合わせ先 E-Mail : chiune-koen2026@list.waseda.jp

主催 NPO杉原千畝命のビザ

共催 早稲田大学文化推進部

※講演内容は予告なく変更される場合があります。